

CWA NEWS



会長あいさつ



千葉ウィスコンシン協会
会長 茂木 友三郎

令和3年最初のCWA NEWSの発刊に当たり
ご挨拶申し上げます。

日頃より千葉ウィスコンシン協会の交流事業等
に格別のご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上
げます。

さて、千葉県とウィスコンシン州は1990年に姉
妹県州の提携をし、その後、2004年に当協会が設
立され、以来当協会が千葉県側の交流窓口となっ
て交流を推進してまいりました。

この間、新型インフルエンザが流行した2009年及び東日本大震災が発生した
2011年に友好使節団の派遣受入事業の延期を余儀なくされました。関係各位
のご尽力によりこれらを乗り越え、幅広い分野で、地域に根ざした民間レベル
の活発な交流を展開してまいりました。そして、その成果として、市民レベ
ルでの交流の輪が着実に広がるとともに深まってきております。

昨年は姉妹提携30周年という記念すべき年であり、ウィスコンシン州から友
好使節団を受け入れる年にもなっておりましたが、新型コロナウィルスの感染
拡大の影響ですべての交流事業が延期や中止となりました。

今年は昨年予定していたウィスコンシン州友好使節団受入をはじめとする交
流事業を実施すべく準備を進めておりますが、現在の新型コロナウィルスの感
染拡大が収まらない状況下においては予断を許さない状況にあります。そのため、今後は新型コロナウィルスの感染状況等を注視しつつ、ウィスコンシン
千葉委員会ともご相談をしながら対応してまいりたいと考えております。

また、事業実施の際には、速やかな情報提供を心がけてまいりますのでよろ
しくお願い申し上げます。

結びに、当協会の交流事業等につきまして、今後とも当協会の役員、会員を
はじめとする皆様方のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上
げ、挨拶といたします。

ウィスコンシン州出身のALTを紹介します！

県内の学校には多くのウィスコンシン州出身のALTが活躍しています。

ALTとは、Assistant Language Teacherの略で、外国語を母国語とする外国語指導助手のことです。

現在県内の小・中・高等学校には、英語発音や国際理解教育の向上のため多くのALTが配置されています。そのうちウィスコンシン州出身のALTを紹介します。

上段 左から

Evelyn Ewald	県立安房高等学校、県立長狭高等学校
Max Gumble	県立土気高等学校、県立千城台高等学校
Patrick Grimes	県教育委員会ALTプログラムコーディネーター
Josephine Kirkland	旭市立第二中、干潟小、共和小学校
Clara Faile	いすみ市立岬中、長者小、中根小、大原小学校



中段 左から

Jon Kangas	県立佐倉高等学校
Ben Alden	県立匝瑳高等学校
Matt Vosters	県立松尾高等学校
Jamison Taube	県立東金高等学校
Amanda MacDonald	県立君津高等学校

下段 左から

Sophia Silva	県立松戸国際高等学校
Lewis Hurd	県立松戸国際高等学校
Jesse Chang	県立流山おおたかの森高等学校
Joseph Simurdiaik	県立流山おおたかの森高等学校
Grant Smith	大網白里市立大網中学校

＜新しいALTのみなさん＞

新しいALTのみなさんに以下の質問をしました。

- 1 簡単に自己紹介や自己PRをお願いします。
- 2 なぜ、千葉県のウィスコンシンALTプログラムに参加しようと思いましたか？
- 3 日本へ来る前と来てからで日本に対する印象が変わりましたか？
- 4 コロナ対策(手洗い、消毒、3密を避けるなど)に関して、アメリカと日本で何か違いを感じますか？
- 5 来日後、日本で生活していくうえで何が一番大変でしたか？
- 6 来日後、日本または日本人のここがいいと思えることがありましたら教えてください。



県立成田国際高等学校
Hanna Nam

- 1 ミルウォーキー生まれの韓国系アメリカ人です。趣味は料理で、仕事がなければ、自分や友人のために料理しています！他に、テニスやバドミントンが好きです。
- 2 他のALTと情報を共有し、励まし合ったかったので、少人数の緊密なブログを選びました！
- 3 日本人は思いのほかずっと優しくて助けてくれます。
- 4 大して変わりませんが、日本の方が、建物内で体温が測れ、どこでも手の消毒ができるので、よく対策がとられています。
- 5 最も大変だったのは、日本でのやり方を理解することです。大きな間違いをしないように、いつも失礼にあたらないか周りの人に確認しています。
- 6 日本人がとても優しく、助けてくれて感謝しています！いつも支えてくださり有難うございます。



県立柏井高等学校
David Garcia

- 1 ウィスコンシン大学マディソン校卒で、日本語とジャズトランペット演奏を専攻、TESOL(英語が母語ではない人々向けの教授法)の資格も取得しました。趣味は、運動、ピアノとトランペットの練習、絵を描くことやパン焼きです。
- 2 JETプログラムよりこのプログラムの方がコンパクトで、より個人的な触れ合いができる、同僚とより深い知り合いになれると思ったためです。
- 3 日本に対する印象がより良くなりました。職場周辺で多くの人と出会い、私の日本語が下手であっても、積極的に声をかけてきて、楽しく会話しています。また、間違えたり、理解できずに緊張していても、生徒たちは楽しそうに話しかけてくれます。
- 4 違いは山ほどありますが…最も大きな違いは、日本では、他人の健康を守るため皆がマスクをしています。免疫系疾患や喘息のある人などの健康を守るため最善を尽くしていて本当に素晴らしい。
- 5 時差です。以前日本に住んでいて、教える準備をしっかりとしましたが(教えるのがとても楽しいです)、正直な話寂しさへの覚悟ができていませんでした。一人暮らしは初めてで、親友と15時間も離れた外国に住んでいるからです。もちろん、友人が忙しくない朝や週末に話すことはできます。日々の生活で最も辛いのは、空っぽのアパートに帰ってくることです(演奏や沢山の趣味に没頭して時間を潰せますが)。
- 6 一人でレストランやカフェに行っても普通のことなのが本当に良いです。私の経験だと、アメリカで一人でレストランやカフェに行ったら、「負け犬」や「内気な人」と見られます。週末にカフェでコーヒーを飲みながら絵を描いたり本を読んだりするのが好きなので、小さなことですが、急に一人の時間がたっぷりとれた人にとっては最高です。



県立千葉東高等学校
Grace Burzinski

1 ミズーリ州セントルイス市出身で、ウィスconsin大学マディソン校卒です。絵やアート作品を創ることが好きで、美術を専攻しました。余暇はテレビゲーム、ファンタジー小説、パイ焼き、ピアノのほか、友人と日本を旅行して楽しんでいます。

2 長年海外に住んでみたいと思っていた、大学で日本語を勉強してみると、日本で先生をやってみたいという気持ちになりました。母は35年以上教師をやっていたので、私も母の仕事にずっと関わっていて、高校の頃セントルイス市内の学校でボランティア活動をしていました。いつか美術に係る仕事をやってみたい(できれば日本で)と思っていますが、教えることや子供の成長に係ることが好きなので、現在は好きなことをしながら新しい文化や生き方を丸ごと体験しています！

3 一度観光客として日本に二週間滞在しましたが、千葉には来ていません。日本が予想以上に伝統を重んじて驚かされました。アメリカは若い国で、国民は多様なので、皆に共通した文化はありません。そのため、日本で伝統や意識に関しどう一体化されているかを知るのはとても興味深かったです。

4 マスクの着用に関しては、これまでの習慣もあって日本の方がはるかに徹底されています。アメリカではマスクの着用に声高に反対している人も多くいます。しかし、奇妙なことに、日常生活ではかなり似通っていて、今でも多くの人々がレストランやショッピングモールに行き、電車内はぎゅうぎゅう詰めで座っています。

5 カルチャーショックです。オープンが小さい、衣類乾燥機がない、バターなどの食品の値段が高い、七面鳥のようなアメリカでなら手に入る食材がないことなどです。さらに、アメリカでなら普通なのに、私自身がこんなに目立つとは思ってもみませんでした。通勤時にじっと見つめられるのに慣れるのはまず無理だと思います。

6 私の日本語が下手で不作法でも、皆さんがとても優しくしてくれることに感謝しています。



県立千葉南高等学校
Alexie Bollman

1 イリノイ州シカゴ市出身で、ウィスconsin大学マディソン校卒です。余暇にパン焼き、絵を描くことやユーチューブを楽しんでいます。車や美術館も大好きです。

2 小規模なプログラムなので参加しました。大学2年の頃から教えることに興味を持ちました。パンデミックのためアメリカの経済状況が良くないので、他の仕事をせずに来日しました。将来アメリカ経済が良くなったら、帰国して仕事をするか大学院に入りたいです。

3 来日前、日本に対し現実的にイメージしながら来日しましたが、新型コロナの影響が間違いなく世界中に及んでいます。今いる日本は思っていた日本ではありませんが、この一年間の生活は誰も予想できなかっただろう。日本での生活は幸せで、安全です。そして自然はとても美しいです。しかし、交通機関は意外と不便です！

4 その国のガイドラインに従うかどうかは各自が判断するものと思います。多くの日本人は素直にマスクを(適切か否かはともかく)しています。しかし、ウイルスや規制に対するフラストレーションは同じです。メディアが作ったイメージの面もありますが、アメリカには経済的重圧、根深い人種差別、社会的階層の分断があります。新型コロナは多様な形で、アメリカ社会や政治に在る問題を明らかにしました。私が日本を安全だと思うのは、環境が安全なのではなく、手洗いや消毒を徹底しているからです。

5 新型コロナウイルスのせいで色々不便ですが、一番つらいのは旅行できないことです。本当に旅行が好きなのに、アメリカで年末年始を過ごせず残念でした。旅行制限や2週間の隔離等のため、出国も気安くできません。感染して生徒にうつすことも心配です。そのため、新年はできるだけ健康に過ごしたいと思います。

6 友人や同僚の親切に感謝しています。若くて知らないことが多く、周囲の方々のおかげで、うまくやれています。日本の清潔さや安全も気に入っています。これからもっと楽しみたいと思っています。



県立松戸国際高等学校
Tyler Jossart

1 現在25歳で、ウィスconsin大学マディソン校で東・東南アジアの政治学を専攻、3年前から日本語を勉強し、上智大学にも留学しました。言語学(今は外国語を教えることも！)、政治学や国際関係学に熱中していて、趣味はハイキングです！登山が大好きで、たくさんハイキングに行きたいです。

2 第1の理由は、先生になりたいとずっと思っていて、私の適性に合うかどうかを知る良い機会になると思いました。今のところ、答えはイエスです！仕事も生徒も同僚も大好きです！授業が楽しく、いつも楽しみです。第2の理由は場所と規模です。上智大学に留学時の友人が関東に住んでいるので、千葉は最高です！また、小規模なので友人やコミュニティーを作りやすいです。

3 首都圏に大きな都市がいくつもあり驚きました。以前東京に居た頃、空港以外千葉にはあまり来ませんでした。千葉に住んでみて、千葉にあるすべての都市に驚いています。東京でなくても、ショッピングや食事はほとんど千葉で済みます。もちろん、ディズニーも千葉にあります！コロナウイルスが落ち着いたら行ってみたい。

4 アメリカの方がはるかにPCR検査を受け易いと思います。とても簡単に受けられ、無料の場合も多いです。日本では、熱や咳があってもPCR検査を受けられなかったと聞きました。手洗いもアメリカの方がどこのトイレにも石鹼がありよく行われていると思いますが、日本では石鹼がないトイレが多いです。一方、日本のほとんどのお店では手指消毒液や体温計があります。アメリカでは手指消毒液があるお店は少なく、体温計は滅多にありません。そして、アメリカよりも日本の方がよくマスクをしています。そのため、日本の学校はほとんど休校せずに済んでいます。アメリカでは、残念ながら多くが休校になり、オンライン授業を実施しています。

5 家族と離れていてつらいです。家族仲が良いので、とても悲しいです。新型コロナで、家族、特に祖父母の健康が心配です。クリスマスや感謝祭といった本来家族と過ごす祝日が寂しいです。それ以外、日本での生活はとても楽しく、学校が大好きです！同僚はとてもフレンドリーで、生徒たちは最高です！

6 日本の電車が大好きです。行きたい所にすぐ行けて、とても静かなのでリラックスできます。もちろん、座ればですが。電車は環境に優しいし、アメリカに住んでいた時より歩いています。向こうの冬は千葉よりはるかに寒く、どこにでも車で行っていました。千葉の冬はとても過ごしやすく、問題なく散歩ができます！

3月からCWAのホームページをリニューアルしました —より使いやすく役に立つ情報提供を目指して—



〈主な変更内容〉

○スマートフォン画面をより読みやすく！！

最近インターネットをパソコン以外にスマートフォンやタブレットで見る方が増えています。今回、各端末に応じて画面の文字サイズ、メニュー表示や写真表示サイズが自動的に切り替わり、最適化するシステムを導入しました（上の画像をご覧ください）。

○ウィスコンシン州の紹介動画を掲載

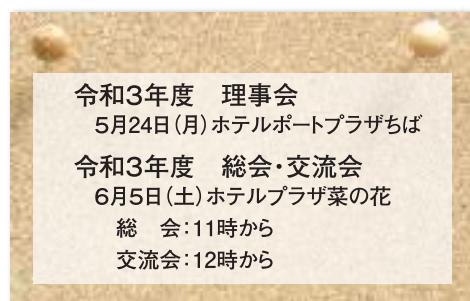
ウィスコンシン州に関する観光等の情報はこれまで文字や写真で紹介していましたが、今回風光明媚なウィスコンシン州の動画（州政府作成）を掲載し、その魅力をより実感できるようにします。

なお、この動画は州政府ホームページからもご覧いただけます。

○今後ともより使いやすく、役に立つ情報を届けるように内容を充実させてまいります。

CWAからのお知らせ

令和3年度の理事会及び総会・交流会については、右記のとおり予定していますが、新型コロナウィルスの感染状況等によっては書面表決等での対応も必要と考えています。会員の皆様には、総会等の開催内容について郵便によりお知らせいたします。



【編集後記】

コロナ禍にあって、CWAはこの1年交流事業をほとんど実施できませんでした。現在も来年度の交流事業の見通しが立てにくい厳しい状況にありますが、新型コロナウィルスの感染拡大収束後に交流活動が円滑に再開できるよう、毎月オンラインによる運営委員会を開催するなどの活動を続けております。

発行所：千葉ウィスコンシン協会
発行人：森山茂男 編集：広報部会

<http://chiba-wisconsin.net/>

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階

(公財)ちば国際コンベンションビューロー内

*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2394(千葉県国際課内)

